

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

(1)おもな動き

【推計人口】 11月

平成26年11月1日の推計人口 1,385,247 人
世帯数 567,816 世帯

1. 推計人口

平成26年11月1日現在の推計人口は、1,385,247人で、前月(1,385,570)に比べ323人の減少となった。

市部では諫早市(67)、大村市(40)の2市で増加し、長崎市(124)、佐世保市(66)、雲仙市(48)、平戸市(42)、対馬市(36)、五島市(26)、西海市(20)、壱岐市(17)、南島原市(16)、松浦市(15)、島原市(3)の11市で減少した。

郡部においては、長与町(68)の1町で増加し、川棚町(18)、新上五島町(18)、東彼杵町(17)、波佐見町(14)、時津町(13)、小値賀町(3)、佐々町(2)の7町で減少した。

自然動態は、出生数1,070人、死亡数1,367人で297人の減少、社会動態は、転入者数2,955人(県内転入を含む)、転出者数2,981人(県内転出を含む)で、26人の減少となった。

2. 世帯数

平成26年11月1日現在の世帯数は、567,816世帯で前月(567,752)に比べ64世帯の増加となった。

(注)

異動人口推計 = H22国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】... 9月

1人あたり現金給与総額 239,642円
対前月比 2.4%減少
対前年同月比 2.5%増加

1 賃金

9月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は239,642円で、前月に比べ2.4%減少し、前年同月に比べ2.5%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は237,808円で、前月に比べ0.7%増加し、前年同月に比べ2.5%増加した。

特別給与額は1,834円で、前年同月に比べて、325円増加した。

2 労働時間

9月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は150.2時間で、前月に比べ2.5%増加し、前年同月に比べ2.0%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は137.5時間で、前月に比べ1.9%増加し、前年同月と比べ1.9%増加した。

所定外労働時間数は12.7時間で、前月に比べ10.4%増加し、前年同月と比べると3.2%増加した。

3 雇用

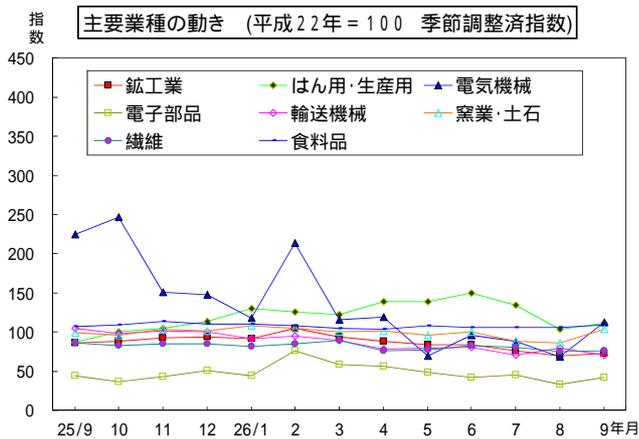
9月の常用労働者数は214,804人で、前月に比べて0.8%の減少で、前年同月に比べ0.8%減少した。

【鉱工業生産指数】..... 9月

平成26年9月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎	73.2	5.6	85.4	14.4
九州	99.0	0.2	104.6	1.8
全国	98.0	2.9	103.0	0.8



平成26年9月の鋳工業生産指数は、季節調整済指数が73.2で前月比は5.6%の増、原指数は85.4で、対前年同月比は14.4%の減となった。

業種別にみると、電気機械工業、電子部品・デバイス工業、窯業・土石製品工業、はん用・生産用機械工業、食料品工業、繊維工業など10業種が上昇し、輸送機械工業など3業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	64.0	46.5	交流電動機
電子部品・デバイス工業	26.6	4.2	半導体集積回路
窯業・土石製品工業	20.2	5.9	生コンクリート
はん用生産用機械工業	6.7	24.1	ボイラー
食料品工業	3.1	3.7	水産練製品
繊維工業	1.2	10.8	織物製外衣

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
輸送機械工業	10.8	31.0	新造船

(注) 前月比は、季節調整済指数の対前月増減率、対前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 10月

総合指数(H22=100)	103.0
対前月比 (%)	0.2
対前年同月比 (%)	2.8

平成26年10月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成22年を100として、103.0である。

前月比は、0.2%の下落であり、下落要因は「食料」0.5%、「保健医療」の0.8%、「教養娯楽」の0.7%であり、主な上昇要因は「被服及び履物」の+0.9%である。

前年同月比は、7月は+3.2%、8月は+2.9%、9月は+2.9%と推移した後、10月は2.8%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は102.9であり、前月比は同水準、前年同月比は2.7%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

被服及び履物	+0.9%
交通・通信	+0.4%

下落した費目

食料	0.5%
光熱・水道	0.4%
家具・家事用品	0.1%
保健医療	0.8%
教養娯楽	0.7%
諸雑費	0.1%

「住居」「教育」は前月と同水準

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 10月

消費支出(一世帯当たり)	267,041円
前月比	390,090円(31.5%減)

平成26年10月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は267,041円で、前月比31.5%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は72.7%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前年比(%)
食料	65,649	5.0%
住居	21,130	86.7%
光熱・水道	18,465	0.6%
交通・通信	36,967	1.4%
教養娯楽	24,492	22.8%

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがある。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず参考値として利用すること。